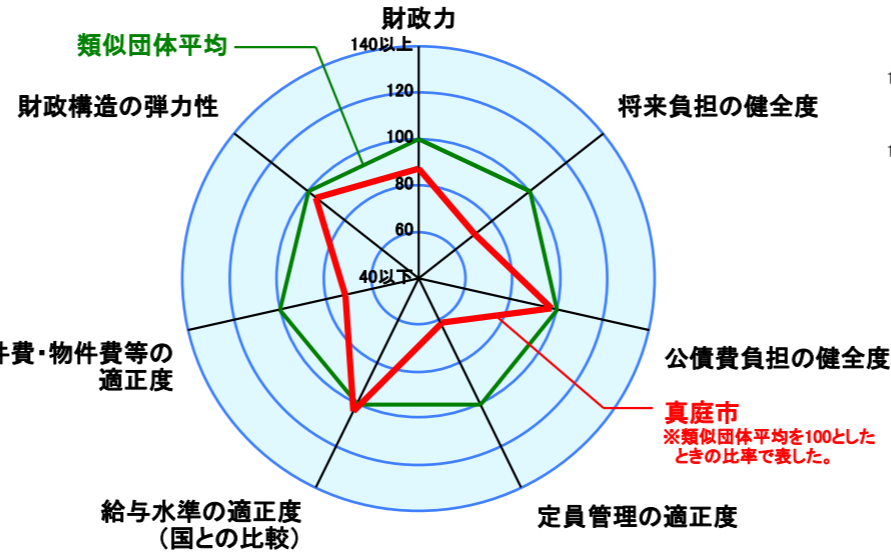
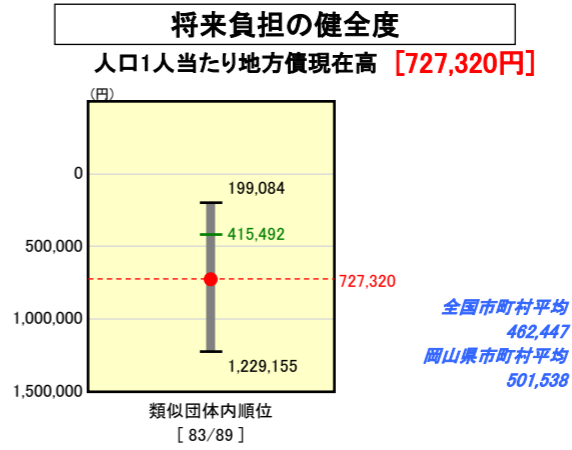
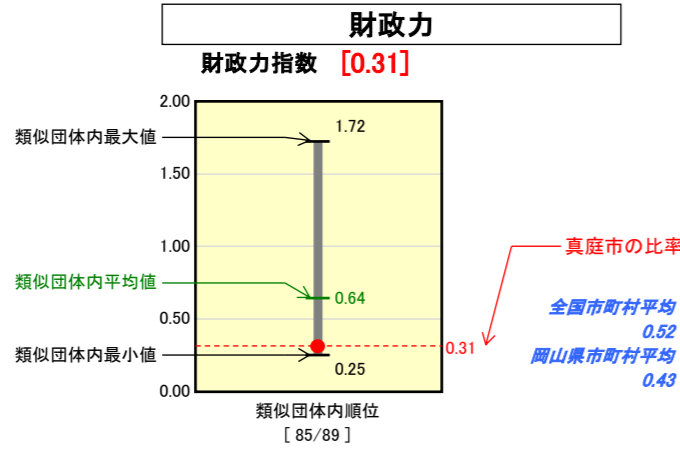


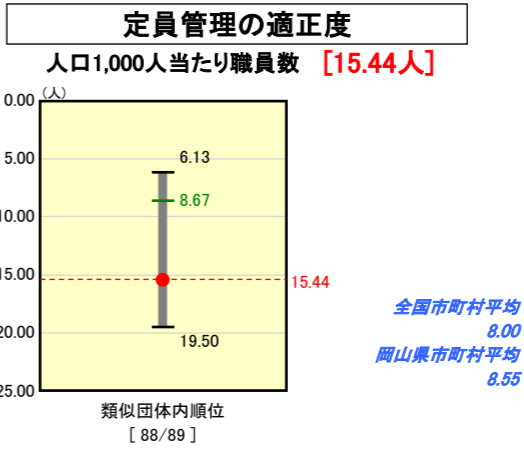
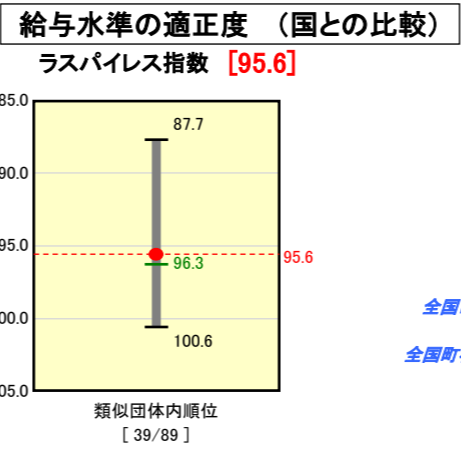
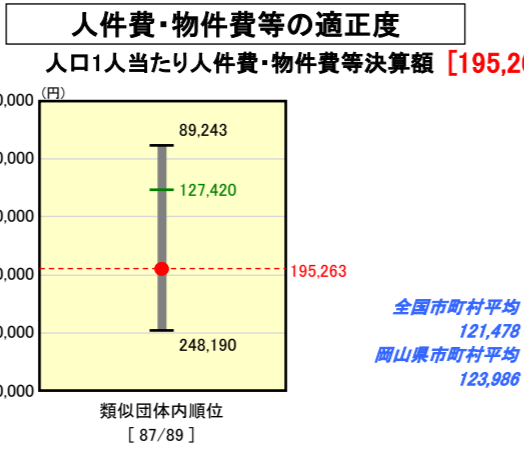
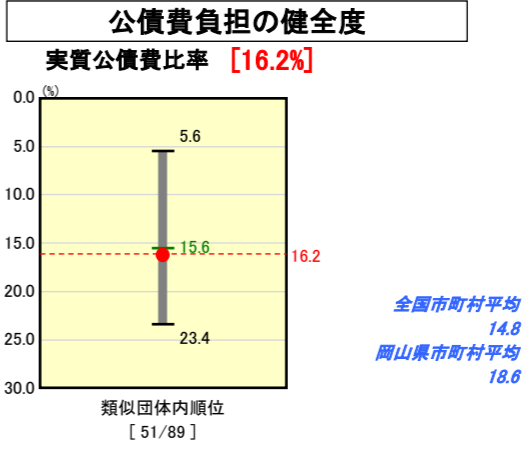
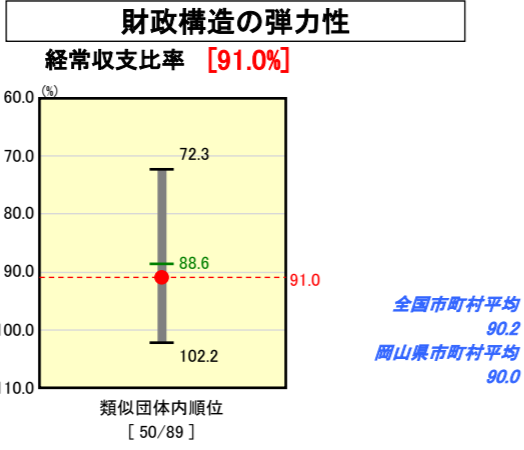
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 真庭市

人口	53,514 人(H18.3.31現在)
面積	828.43 km ²
歳入総額	33,885,979 千円
歳出総額	31,955,504 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- ・財政力指数：平成16年度と比較するとやや向上となり0.31となっているが、類似団体平均を大きく下回っている状況である。今後も、総合計画・実施計画に基づく施策・事業を効率的に推進し、活力あるまちづくりを図りつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。
- ・経常収支比率：合併効果(特別職給与・議員報酬の減)により昨年より比率が下がった(6.0ポイント減)が、類似団体の平均値より高い数値である。交付税の縮減などにより、歳入の伸びが見込めない状況のなか、事務事業の見直しを行い、効率的な行政運営を図り、特に経常的な経費の削減に努める。
- ・人口1人あたり人件費・物件費等決算額：人件費・物件費等の合計額が、類似団体平均と比較して高くなっている要因の一つは人件費である。これは、真庭市が広大な面積を有する市であり本庁機能が分割され、職員数が類似団体と比較すると多いからである。また、9つの町村が合併した市で施設数も多く、維持管理費が高むのも要因の一つとなっている。今後は、新庁舎建設により組織のスリム化を行い、また、事業の民間委託等でコストの低減を図っていく方針である。
- ・人口1人当たり地方債現在高：類似団体平均を上回っている状況である。今後は新庁舎建設等に地方債の発行を予定しているが、交付税措置のある有利な地方債を活用することにより、後年度負担を出来るだけ少なくするよう努める。
- ・実質公債費比率：類似団体平均をやや上回っている。今後も下水道建設事業等の大規模事業が控えているが、事業の適切な取捨選択により、地方債発行額を抑えるように努め、実質公債費比率の上昇を抑える。
- ・ラスパイレース指数：真庭市のラスパイレース指数は95.6であり、県内他市と比較するとおおよそ中間に位置している。給与については、国の給与制度の改正に準じた制度改正を行い、併せて諸手当についても点検を行い整理を行った。今後は、定員管理計画を早急に策定し、給与の適正化に向けて努力する。
- ・人口1,000人当たり職員数：真庭市は828平方キロの面積を有する広大な市であり、本庁機能が3庁舎に分割され、支局、出張所が合わせて9つあることから、人口規模で他市と比較すると職員数はかなり上回っている。今後は、指定管理者制度や施設の管理委託、事業の民間委託等を推進し、事業の見直しや機構改革を実施して普通会計ベースの職員数826人を5年間で10%削減し、10年後の平成27年度には600人程度とする予定である。